

様式1 厚木市報道資料		発 信 日	
あ (制度、その他一般等)		令和7年8月21日	
映像通報システム(Live119)の運用開始			
1	概 要	119 番通報者がスマートフォンなどで送信する映像を指令センターがリアルタイムで受信し、現場の状況や傷病者のけがの程度を正確かつ迅速に把握するシステムを導入します。 本システムを活用することで、災害などの初動における的確な対応や適切な口頭指導につなげます。 【運用開始日】10月1日（水）	
2	背 景	災害や救急現場の複雑な状況を音声通報のみで把握することは難しく、迅速・的確な対応をする上で正確な情報収集が課題となっていました。	
3	PRしたい内容、セールスポイント、前回との違いなど	・災害地点の特定や発生現場の状況を詳細に把握することができ、災害の初動における的確な対応が可能になります。 ・緊急時に通報者が言葉でうまく説明できなくても、映像情報で補うことができます。 ・傷病者の状態をリアルタイムに把握することができ、胸骨圧迫などの応急処置の口頭による適切な指導が可能になります。	
4	予 算	622千円	
5	他市の状況	県内18指令センターのうち12指令センターで導入。県央地区は大和市、県央西部（秦野市、伊勢原市）が導入済みです。	
7	添付資料	ちらし	
8	本資料の問合せ先	部課名	消防本部 指令課（課長 坂本 裕一）
		電話	（046）223－9378

Live119 映像通報システム



電話で伝えにくい現場の状況をスマートフォンで撮影することで消防へ伝えることができます。

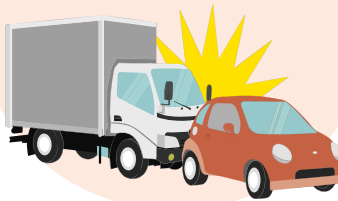
消防が必要と判断した場合にLive119による撮影を依頼します。

こんな時に利用します

火災・災害



事故・救助



急病・怪我



撮影している映像が、指令センターへ電送されます。



事前にアプリ等をダウンロードいただく必要はありません。

迅速な消防・救急活動に繋げるために、ご協力をよろしくお願いいたします。

スマートフォンからの119番通報で、消防が必要と判断したときには、安全確認を行い通報者へ映像送信の協力を依頼します。

1

Live119 を開始する前に、**電話の音声**を**スピーカー音**に切り替えます。



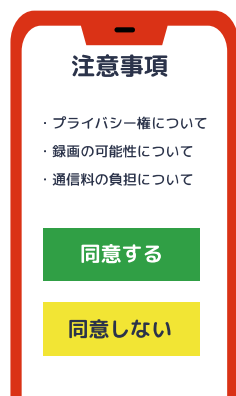
2

消防から受信したショートメッセージを開き、URL へアクセスすると Live119 が起動します。



3

撮影前に注意事項を確認し、問題なければ承諾して先へ進みます。



4

マイクやカメラ、位置情報の確認が表示されたら「許可」を押して先へ進みます。



マイク・カメラで「許可しない」を選択すると Live119 の利用はできません。

5

スマートフォンを横向きにします。赤色のボタンが表示されたらタップして撮影を開始します。



6

撮影している映像が、消防に送信されます。

